

第2回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会事業部会会議録

- 日時 平成30年8月29日（水）午後3時30分～午後5時30分
- 場所 遠軽町役場 3階 第4会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

1 開会

2 議題

進行：事務局 今井参事

（1）部会長の選出について

説明：地域拠点施設準備室 今井参事

説明要旨
（事務局） ・第1回会議で大西委員の推薦がありました。委員の同意があれば大西委員に部会長をお願いしたい。

【意見】

発言者	内容
伊藤委員	前回大西委員を推薦しましたが、経験からいっても問題ないと思います。
各委員	異議なし
事務局	それでは大西委員に事業部会部会長をお願いしたいと思います。
大西部会長	（挨拶）
事務局	以後の進行については、大西部会長をお願いしたいと思います。

（2）公共ホール開館事業調査報告について【資料1】

説明：地域拠点施設準備室 林係長

説明要旨
（事務局） ・ 前回会議で他自治体公共ホールがどのような開館事業を行ったか？を参考にしたい。との意見があったので、開館年が新しい施設について調査を行った。 ・ 当別町公民館 まとまる（2015）落成式を行って以後について、開館事業は行ってない。自主事業、貸館事業を行った。 ・ 名寄市民文化センター EN-RAYホール（2015）オープン式を行い、日にちを空けて市民参加型の「名寄の第九」を完成記念として行っている。その後は開館記念としてプロの演奏、市民劇団の公演を行っている。 ・ 美幌町民センター びぼーる（2012 改築）オープニング記念事業で町民参加「びぼーる土の歌フェスタ」を開催した。開館半年前から町民有志で練習を行った。 ・ 砂川市地域交流センター ゆう（2007）開館記念式典を行い、日にちを空けてオープニングメインイベントで市民劇団「砂川劇場物語 妖怪達がやってくる」を公演した。 ・ 深川市文化交流ホール み・らい（2004）オープン前にプレオープン拓大ミュージカルの

公演を行った。照明・音響設備等スタッフの研修を兼ねて行った。こけら落としとして札幌交響楽団の公演、落成記念公演で、市民で創合同演劇「あの北の星から」を行った。

- ・ 室蘭市民会館（2002）オープンセレモニーを行い、セレモニー終了後、市民を対象に施設見学で開放した。こけら落としとして地元出身のピアニストの演奏会、NHK ラジオ深夜便の公開録音を行っている。
- ・ 斜里町公民館 ゆめホール知床（1998）こけら落としとして町民参加の「町民オペレッタ どんぐりの詩がきこえる」を公演し、その後はプロの歌舞伎、音楽、演劇を公演した。
- ・ 湧別町民文化センター さざ波（1996）開館事業については分らないとのことでしたが、開館1年で加藤登紀子、由紀・安田姉妹、来生たかお等の芸能人コンサート、札幌交響楽団等の演奏会、民謡、演劇、オペラ等幅広く事業を行っています。担当者は予算があれば色々できます。開館の次年度は予算が半分になったとのことでした。
- ・ 2遠軽町内で行われている定例イベントの中で大ホール利用見込です。小ホールで行えそうなものもありますが、事業計画を策定していく中で、この日程は避けて組んでいく必要があります。

【意見】

発言者	内容
アドバイザー	<p>砂川のゆうでは開館事業1週間行いました。1月7日オープンから1週間通しで何をやるのか、私自身が驚いた記憶があります。人形劇、映画、落語イベント週間でした。</p> <p>オープニングイベントをやる時に季節はいつなのか？四季によってやる事が変わってくると思います。子ども達の休みにオープンをぶつけると集客は見込めます。</p> <p>オープンを公益に知らせるために、放送局に入ってもらおうと1番良い方法です。放送局にアプローチしていくことが大事です。</p> <p>この施設は反響板が良いものが付く予定なので、オーケストラ呼ぶのもいいですね。札幌だとお金が掛かってしまうので、大学のオーケストラがいいと思います。大学は合宿を兼ねて全国を回っているの、早めをお願いをして遠軽で合宿をしてもらい、演奏会をやってもらおうとか、近隣に「遠軽町にこういう劇場が出来ました」と宣伝をして、1度見に来てくださいとか、使ってみてくださいとアプローチが必要です。管内で行われているコンクール、フェスティバル、大会等を誘致し、1度使っていただき、感想をもらい、改善できるところは改善していくというのも1つの考え方です。</p> <p>大事になってくるのが、鑑賞と交流という「出会い」の部分、創るという「創造」、広げる「育成支援」という3つのテーマが必要です。</p> <p>映画も文化庁の安い値段で貸してもらえます。古い映画は映写機が必要になることがありますが、最近の映画はDVDで送られてきます。砂川で30年前の映画をやりましたが、年配の方は来てくれます、映画を知らない若い世代の方も来てくれました。遠軽は映画館がありませんので、映画館としても1つの事業となります。</p>

	<p>あとは飲食の部分で、遠軽のホワイエでどんな飲食ができるのか。ピアノ演奏もいいですね。地元出身の方がいるならお願いをしてコンサートをやっていただくといいですね。</p> <p>地元の子も達、それをサポートする大人達がやる音楽劇というのは広がりがありますし、音楽、ダンス、演劇が入るので、最初にやるには音楽劇がやりやすいです。町に劇場ができたから皆で上がろうということでは1番有益です。</p>
大西部会長	資料を見て、住民参加型のイベントが多く入っている。
本田委員	湧別町もやっています。
大西部会長	立ち上げとなると簡単ではなく、町に指導できる方がいるのか。
本田委員	湧別では外部の指導者に来てもらい、1週間ビッチリ指導をしていました。
アドバイザー	半年、10ヵ月かけて練習します。子ども達がホールに練習に通うというのが大事です。違う学校の子、年配の方等の広い世代と一緒に練習するプロセスが重要です。そういう経験が、次の遠軽町の文化に大きく影響してきます。
高桑委員	吹奏楽で全道大会に出場しますが、1つの町で4つ団体が出場するのは遠軽だけです。吹奏楽が盛んな町なのでうまく活かせばいいと思います。
大西部会長	今言っていた通り、子ども達が1つ、吹奏楽の街が1つ、ピアノの工場があるのも1つの特徴となります。この3つは間違いなくあります。

(3) 開館に向けた開館事業企画立案等の進め方について

説明：太田アドバイザー

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"> 10月に札幌芸術文化劇場 hitaru がオープンします。オープンの周知で全国に冊子を出しています。平面図、各部屋の紹介、何ができるのか、こういうイベントをやります等紹介しています。こういう冊子は必要になります。「ブラボーが止まらない」のキャッチコピーを入れたりしています。これは半年前から配られ、こういう施設ができるというワクワク感を出しています。全体の中身を広報することが必要です。 オープン前準備が必要となる、昔やったミュージカルは半年前から、大道具の作成、練習をしていました。いかに住民に手伝ってもらいオープニングに入っていくかです。ミュージカルをやりませんか？と周知してオーディションをしています。人が集まる方法だと思います。遠軽は吹奏楽なので、ミュージカルに参加するということもできます。 これからできる劇場が、演劇だけではない、吹奏楽だけではないと、多様性がありいろんなことができることを住民にどういうふうに分らせるか、砂川ではいろいろな専門家呼びパネルディスカッションを数回やりました、それを住民に見てもらい一緒にディスカッションしました。舞台ができたなら何をするのか、何ができるのかを考えました。他の劇場担当者呼び、話しをしてもらいました。こういった事前活動が企画等に大きく影響しました。 方向性～これからの未来の情報をどのようにストックしていくか。参加性～住民が参加

する広場でなければならない。そうなるためにはどうしていくのか。発信性～地域でできたものを、新しい創造を全国に発信していく方法。可能性～広くの世代に参加をしてもらい新しいものを生み出していく。そこが大事になってきます。

- センターができるが、まったく興味を示さないサイレントパトロンといいますが、そういう方をいかに刺激して、足を運ばせるかが重要になってきます。

例えば、今まで演劇等を見に行ったこと、足を運んだことがない方がいます。縫物が得意で、舞台上で使う衣装を縫ってほしいとお願いしたらOKしてくれました。こういう住民は必ずいます。そして自分の縫った衣装を着ている演劇を見に行く。何だかの形で手伝いをしてくれる人がいます。こういった方を見つけて関わってもらうことも1つの方法です。

【意見】

本田委員	住民の方と話をし最初に出る言葉が、吹奏楽のために使う場所ということです。吹奏楽が使うから関係ないという認識です。イベントあったら見にいかないのと聞いても、興味が無いと言います。そういう方をどう引っ張り出すか考えます。
アドバイザー	もちろん吹奏楽も使いますが、それだけに使うのは意味がありません。ここで新しい文化が生まれないと、コラボレーションが生まれないと意味がありません。
大西部会長	まずはいいものを鑑賞するからスタートすると思います。その次の関わりのある方が活躍してもらおう。最終的には住民が参加をしてもらおう。そういう方向に進むのが理想だと思います。 名の無い方が来ても集客が難しいです。来てくれた方は誘ってこればよかったと言います。 昔は「故郷で錦を飾る」という言葉がありますが、今まで箱が無かったのでできませんでしたが、遠軽出身のそういう方が今度はどんどん関わっていただけるようになればプラスになります。
アドバイザー	多くの人に関わり1つのものを創っていくというプロセスを大事にすると、数年後は面白い街になると思います。
伊藤委員	目的は文化人をどれだけつくるのか。施設をどれだけ活用して自分のものにしていくか、または社会にそれを送り出していくかだと思います。どのように広げていくかが難しい。遠軽町は遅かった。
アドバイザー	遅かったなりの工夫ができます。例えば卓球をステージの上で行うことです。周りを暗くして卓球する場所だけスポット当てるととてもかっこいいです。講演会の合間に空手の型をやったら見入ってしまいます。

(4) 事業部会の進め方について【資料2】

説明：地域拠点施設準備室 林係長

説明要旨	
<ul style="list-style-type: none"> 前回会議にて、こけら落とし、開館記念事業、開館記念事業の期間等話し合いが行われた。事業部会では「自主事業」、「貸館事業」、「連携事業」、「プレ事業」、「開館事業」を積極的に取り組む必要があります。 	
<ul style="list-style-type: none"> これらの事業を展開していくための企画立案を行い具体化していきます。 	
<ul style="list-style-type: none"> 検討事項 (仮称) 町民センター開館に向けたコンセプトは何か 開館記念事業の期間 事業の提案 (今部会以後も随時提案) 	
<p>事業提案について、できる、できないは置いておいて、皆さんの多くの意見、考え聴き、そこからできる、できないのふるいにかけて事業を選定していく流れがよいかと思います。別紙1の検討シートを使っていただき、まとめていただければと思います。落成式、こけら落としについては町主催となります。こけら落としについては町の意向があると思いますが、部会で提案があれば参考にさせていただきたいと思います。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> スケジュールについては、前回会議で話しをしています、平成31年9月までに企画立案を作成となっております。決まった企画については早め早めに交渉をしてプラン作成をしていくといいと思います。 	

【意見】

大西部会長	こけら落としについては、町ではある程度決まっているのですか。
事務局	まだ決まっていません。
大西部会長	検討事項について、開館に向けたコンセプトですが、意見をお願いいたします。 町民ありきか、周辺からも来てもらうのかということです。湧別ではオープン当時、町民ありきで事業を行っていて外部は何をやっているか知らなかったという状況でした。遠軽は今まで町外に見に行くばかりでしたが、町外からもたくさんの人達が来てもらえる方向で考えた方がいいと思います。
竹之内委員	早い段階から周知をして、来てもらえることで見てもらうことが大事です。そして遠軽町の定例イベントに繋がっていくのではないかと思います。コンセプトが決まれば、事業の組み方が変わってくると思います。
高桑委員	オープンしてから町民参加のイベントをやったり、次の月は劇団四季のような大きなイベントをやったり、事業の組み方ができると思います。
大西部会長	期間がどのくらいでやるかですね。
竹之内委員	広報活動、チケット販売等のスケジュールもできます。
大西部会長	多くの人に来てもらうのに短期間でいろいろ準備するのは大変です。事業は1年位かけて2か月1回でいいと思います。
竹之内委員	指定管理者がプレオープンを受けて、訓練の基礎の場となって、開館記念事業の実践的にできるようになる。
大西部会長	町民が作り上げていくことでいけば、スタッフとして関わって経験を積みな

	がら勉強をしていく。いろんなジャンルのを1年かけて消化しながら勉強になると思います。
竹之内委員	受け入れのキャパ量が増えてきて、しっかり利用料が取れる体制づくりがいいと思います。そういった意味でも、開館記念として喜びを、期待を分かち合える祝祭の事業をコンセプトとして、一定の期間で様々な事業を展開して、住民に伝えてあげていくことを大事にしたいと思います。
高桑委員	プレ事業は1年前に完成していない段階で、どこで何をするのか。
事務局	他の施設であればどこでもいいです。新しい施設ができることをPRできるように展開していきます。
竹之内委員	前にアドバイザーが言っていましたが、例えばのど自慢等テレビ、ラジオの使い情報発信する方法するがあります。NHKはテロップを入れてくれることがあります。
アドバイザー	プレ事業は例えば、住民参加の演劇をするとして、怒られ泣きながらも練習を頑張っている様子を記録するとか、ダンスの全体練習風景を記録するとか、それがプレ事業だと思います。
大西部会長	話しを戻しますが、コンセプトは町内外の多くの人が、センターに足を運んで知ってもらえるような事業をすることだと思います。
アドバイザー	コンセプトとは育成支援をしよう、鑑賞交流をしよう、創造活動をしようということだと思います。コンセプトはちゃんと決めないといけません。ちょっと話しがそれますが、町で落成式とこけら落としをやるということですが、これを入れなくてはかっこ悪いという事があって、テープカットもそうですが、祝い舞という三番叟（さんばそう）といいますが、三番叟が終わって式が始まりおめでとうございませうという流れです。最初から式典というのは文化的ではなくかっこ悪いです。ホールの場合は文化芸術の建物が出来ましたよと祝うことです。こけら落としについては、反響板を使うことを行い立派な反響板があると披露をして、終わった後に反響板を片付けて、次に平舞台のものをやる。こけら落としとは反響板ものと平舞台ものをやらなくてはなりません。流れとして必要だと思います。
伊藤委員	三番叟は外部から呼ばなくてはいけません。
アドバイザー	地元でもお師匠がいればできます。問題なのは地元でお師匠が何人もいる場合です。札幌では人形浄瑠璃で三番叟をやることもあります。馴染みのない方でも、新しいホールで実際の人形浄瑠璃をみたら、新しいことが始まると気持ちが変わると思います。
高桑委員	式典をやる時、一般客を入れてやっていいのですか。
アドバイザー	入口でテープカットをやって、中に入ってもらい、式典が始まるまで施設見学をしてもらう。式典時に一般客を入れるかは考え方ですが、祝い舞をやって、式典が始まるという方法があります。
事務局	今予定しているのは、町民センターに携わった関係者の方を呼んで行いたいと考えています。満席にしてやるかは分かりません。
高桑委員	落成式とこけら落としは一緒の日にやるのですか。

アドバイザー	一緒の日でも、別の日でも大丈夫です。
大西部会長	こけら落としは反響板ものと平舞台ものと同日ですか。
アドバイザー	同日のほうがいいと思います。 劇団四季は学校向けに無料で公演をしてくれます。その変わり子供だけ。大人が見る場合は買わなければなりません。
大西部会長	コンセプトについては、大きな形の中で鑑賞する、育成をする、発信をするという中で町民参加を含めた大筋の考え方になろうかと思います。
アドバイザー	言葉にするのはなかなか難しいです。砂川では「賑わい」「響き合い」「結び合う」で表現しています。 こういうことを考えるのが得意な方がいると思います。 演出として、書家を呼んで大きい布に書いてもらい、後ろで薩摩琵琶の生演奏、書き終わったら披露して式典が始まるみたいなことができます。
大西部会長	遠軽町の昔から未来に向けての歴史等があります。ホールだけではなくその辺を考えていかなくてははいけません。その辺りを念頭に置くと難しいです。
アドバイザー	新しいセンターから文化が始まるのは間違いないと思います。
竹之内委員	4町村が合併しているので「集う」吹奏楽が盛んなので「奏でる」あと1つ何かあれば、奏でるは人と人が奏でる、音楽を奏でるの意味があります。
大西部会長	色々な意見が出た中で、事務局はどうですか。
事務局	すぐ決まることではないので、今日出ました意見はまとめます。
大西部会長	開館記念事業の期間について意見ありますか。 先ほども話しましたが、1年位の長い期間がいいと思います。
高桑委員	長い期間でいいと思います。
大西部会長	長い期間で多くの事業をこなすと、スタッフの経験となります。
竹之内委員	夏の時期、冬の時期、駐車場等、1年間通して経験が必要です。
アドバイザー	開館記念という冠があれば半年でも1年でもいいと思います。
大西部会長	開館記念事業については1年間ということによろしいですか。
各委員	異議なし
大西部会長	次の事業の提案に移ります。ものによってはスケジュールを押さえないとダメなものもあります。 個人的には他の街で行っている子どものミュージカルがいいと思っています。 皆さま意見ございますか。
本田委員	子どもミュージカルをやる場合、どなたが指導するのですか。
大西部会長	太田アドバイザーからアドバイスいただきながら、演出からですね。地元アシスタントとして手伝ってくれる方はいると思います。 指導してくれる方は外部から呼ばないとダメかもしれません。
竹之内委員	こけら落としということですか。子ども達がプレ事業練習している所から始めて、こけら落としとして子どもミュージカルをやる。
伊藤委員	昔社名淵小学校でオペレッタをやったことがあります。
竹之内委員	こけら落としとしては、町民参加のミュージカルでもオペレッタでもできた

	<p>らいいですね。 プレ事業では施設の愛称を募集するのですか。</p>
事務局	<p>今年度中に考えています。</p>
大西部会長	<p>広報はプレ事業でやるのですか。アドバイザーが前に言っていました、建物建設の進捗状況を写真に撮って広報に載せるとか。</p>
アドバイザー	<p>広報紙というのは早めに取り組むといいです。町の広報とは別の方がいいです。</p>
竹之内委員	<p>オープステッカーを作って、お店に貼ってもらうとかいいですね。</p>
大西部会長	<p>今日の提案をまとめますと、落成式は町主催で、こけら落としの部会提案として、自衛隊、吹奏楽の街ということで陸上自衛隊中央音楽隊、町民参加で子どものミュージカルまたはオペレッタを意見としていいですか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
高桑委員	<p>プロの吹奏楽団と一緒に地元吹奏楽とのコラボはできないでしょうか。</p>
竹之内委員	<p>コラボについては交渉だと思います。学生に指導する場があるといいですね。</p>
大西部会長	<p>1度武道館に聴きにいきましたが、北海道は太鼓が凄かったです。</p>
竹之内委員	<p>がんばろう太鼓も力入れています。</p>
高桑委員	<p>自衛隊のお祭りには6,7団体が来ています。そういうのを呼ぶのもいいです。</p>
大西部会長	<p>開館記念事業としては、こけら落としを入れて年6公演です。</p>
竹之内委員	<p>のど自慢は是非来てもらいたいです。広報性が高いと思います。</p>
高桑委員	<p>斜里ではBS日本の歌が来ます。こういうのは呼べませんか。</p>
大西部会長	<p>オープン記念として、メディアがホールを使って取り上げてくれるような働きかけが必要になってきます。</p>
アドバイザー	<p>故郷自慢のど自慢は町の自慢ができる番組です。美味しい食べ物、美しい場所、面白いおじさん等何でもいいです。来年NHKの相談する場所があるので行ってみるといいかもしれません。</p>
大西部会長	<p>遠軽高校の吹奏楽はレベルが高いので、継続的にやってもらえるようなコンクールを企画してもいいと思います。</p>
アドバイザー	<p>教育委員会が後援について自主事業になります。</p>
大西部会長	<p>レベルの高い高校ほど卒業したあと音楽から離れる子が多いそうです。音楽の道に進む人は別ですが。練習が体育会系みたいな所があって燃え尽きてしまうみたいです。ですので、楽しくできる音楽のコンクールがあるといいです。</p>
高桑委員	<p>卒業生がグループを作って、母校の演奏会と一緒に出るという学校もあります。</p>
大西部会長	<p>それができればいいです。遠軽にそういう施設が無かったことが1つの要因です。表現の場があるといいです。</p>
アドバイザー	<p>砂川でもホールができて、いろいろ聴いて、大人のJAZZチームができました。</p>
竹之内委員	<p>あとは映画上映会があります。映画館が無く福祉センターでやっています</p>

	た。小さい子供がいると泣いたりするので、なかなか映画館に行けないという声があります。ホールができれば子どもが泣いてもいいような環境をつくるといいです。 他に歌舞伎とかはどうですか。
アドバイザー	歌舞伎はもの凄く高いです。舞台は花道が無いとできません。 狂言は普通に舞台でできます。
大西部会長	札響はどうですか。
アドバイザー	札響も高いです。数名呼んでアンサンブルができます。子ども達にレッスンをしてくれますのでいいと思います。
大西部会長	JAZZでは角田健一ビッグバンドがありまして、スイングJAZZをやっています。
竹之内委員	JAZZに限らず、クラシックとか色んなジャンルがありますが、コンサートはカテゴリーとして入れた方がいいですね。
アドバイザー	大ホールに限らず小ホールでディナーショーもいいです。 規定がどうなるか分かりませんが、会場費は無料で貸しますから、売り上げは全部持って行っていいですよと声かけすると、来てくれることがあります。
伊藤委員	あまり利用をきつくすると嫌がられることがある。決まりはあるが、管理者が応用を利かせ対応していくといいかもしれません。
高桑委員	合宿をして、その後に演奏会を開きたいという学校もあります。
大西部会長	ある程度意見がでました。決まったものから順次調べていく形となります。 スケジュールと予算を調べてもらいます。
事務局	その他にもどういった事ができるのか、下調べをして次回会議を実施することになります。
大西部会長	まだ時間もありますので、いろいろ案をだしながら検討していくこととなります。

3 次回の日程について

説明要旨
日程は決まり次第連絡します。

4 閉会

(午後5時30閉会)

第2回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会事業部会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	大西 定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	部会長
委員	高桑 健次	一般公募	
委員	本田 ちづ子	ダンス教室 ami:φアミ	
委員	伊藤 栄三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	
委員	竹之内 義文	遠軽商工会議所	
アドバイザー	太田 晃正	有限会社時円プランニング代表取締役	
事務局	斉藤 隆雄	総務部地域拠点施設準備室室長	
事務局	今井 昌幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	林 幸司	総務部地域拠点施設準備室係長	
事務局	安西 一樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
計	10名		

欠席：高橋利明委員（北見地区吹奏楽連盟遠軽支部）

中南秀隆委員（遠軽町教育委員会）